

営業利益 FY2022の計画（連結）

- 日本：旺盛な需要を捉え、トップライン伸長。ミックス改善、価格転嫁、一過性のコスト減により増益
- 海外：地域別・市場別施策の効果により、トップライン伸長。価格転嫁、ミックス改善で増益

- ・ プラス要因
- ・ マイナス要因

(単位：百万円)

